

主な活動の紹介



地域による学校 環境整備活動

この他にも、図書室の書庫整備活動があります。



生徒による地域 貢献清掃活動

縦割り班による地域への「恩返し」活動です。

生活体験ふれあい活動



米づくり体験（豊田前小）



音遊び体験（豊田前小）



紙手紙教室（豊田前中）



料理教室（豊田前中）

年間を通して行われます。地域の方々から学び、共に活動しながら、世代間交流を深めました。

伝統文化継承活動



竹とんぼ教室（豊田前中）



茶道教室（豊田前中）



大正琴教室（豊田前中）



華道教室（豊田前中）

文化祭当日に行われます。日本の伝統文化に触れ、「和」をたしなみ、文化に対する造詣を深めました。

成果と課題

学校支援地域本部事業から通算5年目を迎え、地域と連携した教育活動は、学校と地域の垣根を一層低くし、違和感のない自然体の活動となっています。活動を通して、児童生徒とのふれあいが、多くの地域住民に活力を与えるとともに、子どもや学校の様子を知ることで、地域の子どもの健全に育成するためには、地域の教育力が不可欠であるという意識がこれまで以上に高まり、ボランティア登録者数の増加にもつながっています。

一方、課題もいくつか散見されました。学校支援ボランティアの高齢化や特定の年齢層への集中などです。次の世代へ引き継ぐために、子どもの保護者世代にあたる地域住民に対して、活動への参加をどう促し、地域の学校運営へ参画する姿勢をどう導いていくのかなど、検討が必要となっています。

今後の取組

これまでの活動は、どちらかといえば地域の方々に学校を支援してもらう活動が中心でしたが、これからは、地域の活性化を担う交流拠点としての役割をしっかりと認識しながら、地域のニーズを把握し、「地域の中の学校」から「地域の学校」へと脱皮していくことが大切であると考えています。また、常に新しいことを考えるのではなく、今行っている活動を、地道に自然体で継続していくことが肝要です。学校支援ボランティアの高齢化をはじめ、取り組むべき課題もいくつかありますが、子どもたちが豊田前地区をじっくりと見つめ、地域貢献について考える機会を増やすことで、さらに主体的に地域にかかわっていかうとする態度を育成したいと思えます。